

一粒の麦 場面七

険しい道のり



吟子は俵瀬の
そして、「この先
さまざまな瞬間が

水場にしゃがみこんだ。
私はどうしたらいいの」
吟子の脳裏に蘇った。

写真と解説はイメージです。史実と異なる場合もあります。

吟子は1882(明治15)年6月、東京府に医術開業試験の願書を提出しましたが、8月に却下。翌16年、再び願書を提出しますがこれも却下、9月に今度は埼玉県に提出しますが却下、内務省にも提出しますがこれも却下されたのです。こうした苦境の中でも吟子はあきらめず、各地の医師の助手について実地の腕も磨いていましたが、進退は窮まっていた。